

がん検診 Q & A

Q どんながん検診を受けたいですか？

がんの死亡率の減少効果が検証されており、国が推奨しているがん検診は5種類です。がん検診で無症状のうちにがんを早期発見できれば、治療による負担が小さくすみます。

推奨しているがん検診  胃  大腸  肺  乳  子宮頸

Q がん検診はどこで受けられますか？

がん検診には、お住まいの市町村が実施している住民検診と、お勤め先が実施している職域検診があります。

お勤め先で検診を受ける機会がある方

お勤め先のがん検診を受診しましょう

お勤め先で検診を受ける機会がない方

お住まいの市町村のがん検診を受診しましょう

Q がん検診を受けるには時間がかかりますか？

検診自体に要する時間は、いずれの検診も10～20分程度です。事前予約が必要な場合が多いので、市町村や医療機関等に確認してください。

がん検診で「要精密検査」となったら、
放置せずに必ず精密検査を受けてね！



このリーフレットのお問合せ先

徳島県保健福祉部健康寿命推進課
〒770-8570 徳島県徳島市万代町1丁目1番地
TEL 088-621-2999

徳島県の
がん対策
関連情報



がん無視すんなよ！

徳島県のがん検診



ダメだよ。がん無視。



がんムシ君

二人に一人、がんになる時代。
どんなに医療技術が発達しても
早く見つけるに
越したことはない。
だから、住んでる街や
働いている会社など、
あなたの身近でがん検診の
サポートをしています。
どうか無関心のままで
いないでください。
自分のためにも、
大切な家族のためにも。

 徳島県

多くのがんの初期には、自覚症状がありません。

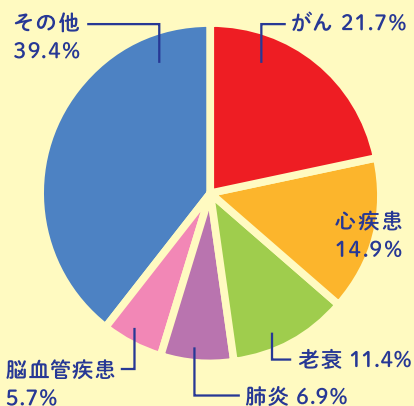
がん検診を受診することで、がんを早期に見出し、適切な治療を行うことができます。早期に見つけれれば、がんは決して怖い病気ではありません。

「怖い」、「面倒くさい」、「自分は大丈夫」だと言わず、
命を守るためにがん検診を受けましょう！



徳島県の令和6年における、
がんによる死亡数は2,455人で、およそ
「1/5」の方ががんで亡くなっています。

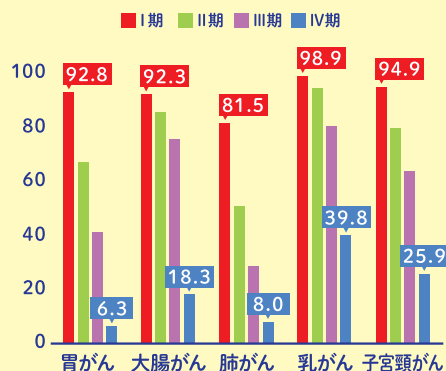
徳島県の死亡原因



出典：令和6年(2024)人口動態統計(確定数)の概況(厚生労働省)

進行度(ステージ)の
低い段階で見出し、治療すれば
生存率は高くなります。

ステージごとの5年後の生存率



※ここでは、「がんのみが死因となる場合の5年後の生存率(=ネット・サバイバル)」を採用しています。
出典：国立がん研究センター がん情報サービス「院内がん登録生存率集計」(2014-2015年5年生存率)

胃がん

- 対象者：50歳以上の男女※
 - 受診頻度：2年に1回※
- ※当面の間、胃部X線検査については40歳以上、年1回でも可

胃がんは、初期は自覚症状もなく、自分では気づきにくいがんです。定期的な検診が重要です。



胃部X線検査

発泡剤と造影剤(バリウム)を飲み、さまざまな角度から胃の内部をX線で撮影します。

胃内視鏡検査

口や鼻から内視鏡を入れ、胃の中を直接観察します。

大腸がん

- 対象者：40歳以上の男女
- 受診頻度：年に1回

大腸がんは徳島県で罹患数が一番多いがんです。

食生活の欧米化により、大腸がんの罹患数が増えています。



検診内容

便潜血検査

専用の検査容器に少量の便を採取して提出します。

※便潜血検査で陽性になったら、大腸内視鏡検査を受ける必要があります。

肺がん

- 対象者：40歳以上の男女
- 受診頻度：年に1回

喫煙者は非喫煙者と比べ、男性で約4倍、女性で約3倍、肺がんになりやすいと言われています。



検診内容

胸部X線検査

X線で肺全体を撮影します。

喀痰細胞診

痰を採取し、肺がんの細胞が混ざっているかを顕微鏡で調べます。

乳がん

- 対象者：40歳以上の女性
- 受診頻度：2年に1回

「ブレスト・アウェアネス(乳房を意識する生活習慣)」を日頃から実践しましょう。



検診内容

マンモグラフィ

乳房を片方ずつ2枚の板ではさみ、X線で撮影をします。触ってもわからないしこりや石灰化を見つめます。乳房の圧迫時間は数十秒ほどです。

4つのポイント

- ①自分の乳房の状態を知る
- ②乳房の変化に気をつける
- ③変化に気づいたらすぐ医師に相談する
- ④40歳になったら2年に1回乳がん検診を受ける

子宮頸がん

- 対象者：20歳以上の女性
- 受診頻度：2年に1回

子宮頸がんは、ヒトパピローマウイルス(HPV)の感染によるものが多く、20~30代で急増しています。



検診内容

細胞診

子宮頸部の細胞を綿棒などでこすり採り、採れた細胞診を顕微鏡で調べます。

内診

膣内に指を入れ、下腹部の上を軽く圧迫しながら子宮や卵巣を触診します。